

# 平成28年度 平山郁夫連続セミナー アートオアシス in 広島

「平山郁夫絵画の原点」をテーマとした連続セミナーを開催いたします。お気軽にご来場ください！

【対象】一般

【参加費】500円（予約不要）

【会場】広島県立美術館 地階講堂  
（広島市中区上幟町 2-22）

【会場アクセス】

- ・市内路面電車・バス「縮景園前」下車約20m
- ・広島駅より約1km、広島城より約400m

## 第1回

9月10日（土）  
14:00～15:30

講師：白鳥正夫  
（文化ジャーナリスト）



## 「シルクロード現代 日本人列伝」

世界文化遺産になったシルクロードの陰で、国際貢献に尽くす日本人がいます。仏教と文化の源流を求め壮大な作品を描き文化財保護に情熱を注いだ平山郁夫をはじめ、94歳の現在もウズベキスタンの仏教遺跡を発掘する加藤九祐、アフガニスタンの遺跡など文化財研究を続ける前田耕作、キジル千仏洞の修復に私財を投じた小島康誉ら各氏の取り組みを紹介します。

## 「シルクロードの音楽」

縄文・弥生時代の楽器としては、共鳴箱を持たない琴が知られています。飛鳥・奈良時代には、唐から多くの種類の楽器が伝えられ、音楽は一新されました。その中には、共鳴箱を持つ琴や、現在のウズベキスタンで生まれたハープである箏篋（くご）などもありました。ソグド人の使った楽器と飛鳥時代の仏教楽器の共通性などについてお話しします。

## 第2回

10月1日（土）  
14:00～15:30

講師：菅谷文則  
（榎原考古学研究所所長）



## 第3回

11月5日（土）  
14:00～15:30

講師：王 培  
（日本画家・日本美術院院友）



## 「世界に誇る日本画の魅力」

日本画の源流は中国を中心としたアジアの近隣諸国に溯りますが、明治以降の近年、現代では欧米からの影響を受け、吸収・取捨選択を繰り返し、様々な手が加えられて独特な展開を遂げています。そして、現在は日本画が中国等周辺諸国に影響を与え始め、海を渡って日本画を学ぶ海外の画家も少なくありません。今世界から注目されている日本画の魅力をお話させていただきます。

## 「日中文化交流の現状と課題」

平山郁夫画伯は、日中国交回復20年目の1992年から2008年までの16年間日中友好協会の会長を務められました。この間日中平和友好条約も締結され、日中双方で豊富な交流が繰り広げられました。平山会長は、戦後50年の1995年に、城壁の修復を通じて、戦争による傷あとを癒そうと「南京城壁修復・保存活動」を提起されました。2015年の南京城壁修復20周年の集いに、日中双方で400名が参加しました。こうした会長時代の一端をご紹介します。

## 第4回

12月3日（土）  
14:00～15:30

講師：大藪 二郎  
（公益社団法人  
日中友好協会常務理事）



【主催・問い合わせ先】平山郁夫セミナー実行委員会

広島県立美術館（Tel.082-221-6246） / （公財）平山郁夫美術館（Tel.0845-27-3800） / （公財）ひろしま文化振興財団（Tel.082-249-8385）